市報

平成元年
9月3日
第1175号

にいがた

発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866　編集 企画部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

今、語ろうふるさと つくろう新潟21
100 市制100周年 新潟市

ソ連ウラジオストク市から ドゥーロフ市長一行が来訪

交流発展のコミュニケを交わし帰国

ソ連極東地方最大の都市ウラジオストク市からドゥーロフ市長ら一行五人の代表団が八月二十一日、岩杉市長の招きで新潟市を訪問しました。対岸交流で今、日本各地から熱いまなざしが注がれている同市からの代表団来日は、今回の新潟市訪問が戦後初めて。一行は二十五日まで新潟市に滞在、市内視察や関係者との懇談、協議を精力的にこなし、岩杉市長との間で両市間の今後のさまざまな分野での交流発展を図るコミュニケ（公式声明）を交換し、二十八日に帰国しました。

コミュニケ交換後のドゥーロフ市長と岩杉市長

新潟市民の歓迎を受けるドゥーロフ市長

ドゥーロフ市長らウラジオストク代表団の来日＝新潟訪問が実現したのは、同じソ連のハバロフスク市と新潟市との長い友好関係や日ソ沿岸市長会議など新潟市とソ連との友好交流の実績に加え、二度にわたる岩杉市長のウラジオストク訪問が実ったもの。

八月二十五日には市役所の市長室で、両市の代表団が机を囲み「市長懇談会」が行われ、この後コミュニケの調印が行われました。

両市間で交わされたコミュニケの主な内容は①経済・文化交流を発展させることは大変重要で意義あると意見の一致をみた②実務的な、社会のさまざまな分野での代表団を定期的に交換することに合意③新潟港とウラジオストク商港との間に友好関係を樹立する提案を確認、ソ連側はこの提案を「支持した」――などです。新潟市とウラジオストク市は、今回の代表団の訪問の成果を高く評価、日ソ経済関係の中で両市が果たす役割の重要性をお互いに認め合いました。

ドゥーロフ市長は「両市は隣りのまち。日本海は二つのまちを離し隔てているのではなく、反対につなげている。その両岸に私たちのまちがある」と、新潟市民にメッセージを残しています。

市役所新庁舎を 8日～10日に公開

マイカーでの見学は遠慮を！

市役所の新しい庁舎が間もなく完成します。開庁前に、次の日程で市民のみなさんにお披露目をします。まだ真新しい壁、床、天井の、みなさんのための庁舎ですから、見学の際には汚さないようにお願いします。

また混み合うことが予想されますので、マイカーでの来庁はご遠慮いただき、見学時には係員の指示に従って下さい。

一般公開の日時 九月八日・九日・十日（三日間）、午前十時～午後四時

新庁舎の場所 学校町通一番町六〇二番地一（白山公園近く、☎228－1000）

移転作業は 14日～17日

九月十四日から十七日の四日間、市役所は西堀通六の現庁舎から学校町一の新庁舎などへ移転します。

窓口業務のある課は休日や夜間、土曜日の午後に移転作業を行い、来庁の市民のみなさんに迷惑とならないよう配慮しています。それでも、移転期間中は混雑が予想されますので、別表の移転日をご承知いただき、ご協力をお願いします。別表の各課は、それぞれの移転先で業務を行います。

なお、現庁舎の立体駐車場は移転開始の前日、九月十三日午後五時をもって一足早く閉鎖します。

問い合わせ 市庁舎建設室（☎内線368番）へ

移転日	移転課	新庁舎における階数
9月14日(木)夜	議会事務局	4
	人事課	4
	財政課	5
	企画調整課	4
	行政管理課	4
	職員厚生課	4
	交通防災課	3
9月15日(敬老の日)	生活課	3
	市民相談室	分庁舎第1分館1
	消費生活センター	分庁舎第1分館1
	福祉課	2
	援護課	2
	国民健康保険課	1
	国民年金課	1
	庶務課	5
	監理課	5
	工事検査室	5
	広報課	4
	監査委員事務局	分庁舎第1分館3
9月16日(十七年後)	会計課	1
	資産税課	2
	市民課	1
	老人福祉課	1
	障害福祉課	1
	市民税課	2
9月17日(日)	納税課	2
	総務課	3

消防士を募集

申し込みは11日から

試験日 十月十八日

試験会場 第一次は市体育館、二次・三次は市消防局

試験内容 第一次試験は身体適性検査、第二次は筆記、第三次は口述。二次・三次は、第一次試験合格者が対象

受験資格 ①昭和四十三年四月二日から四十七年四月一日までに出生した男子で、高等学校を卒業、または来年三月三十一日までに卒業見込みの人。ただし、四年制大学の卒業者は、四十年四月二日以降に出生した男子。②(ア)身長はおおむね百六十㌢以上(イ)胸囲は身長のおおむね二分の一以上(ウ)体重はおおむね五〇㌔以上(エ)視力は両眼とも裸眼視力が〇・七以上（ただし、裸眼視力が〇・三以上で矯正視力が一・〇以上の人はこの限りでない）(オ)色盲、色弱でない(カ)肺活量はおおむね三、〇〇〇㏄以上(キ)聴力は二㍍の距離で低音が聴取できる(ク)身体強健で体質に欠陥がない(ケ)言語が明りょう(コ)精神状態、精神系統に異常がない ③市内に居住可能な人

募集人員 若干名

受付期間 九月十一日から九月二十五日（消印有効）まで

試験案内書・申し込み用紙 消防局総務課または最寄りの消防署・出張所で差し上げます。郵送を希望される人は、あて先を書いた返信用封筒（六十二円切手をはる）を同封し、「案内請求」と明記して下さい。

申し込み・問い合わせ 消防局総務課（〒951東大畑通一、☎223－3191）へ

土田麦僊「罰」（1908年）京都国立近代美術館蔵

市制100周年記念

新潟の絵画100年展

9月24日まで第1部・歴史編開催中

かつてない規模で、新潟の絵画の100年の歴史をひも解く今回の展示。第1部・歴史編は、各時代の代表的な作家の作品を紹介しています。佐渡の新穂村に生まれた土田麦僊の「罰」＝写真＝もその1点です。盥下に立たされた三人の子供たち。泣きじゃくる少女、上目づかいの少年、放心した表情の少年と、それぞれの心理が描写されています。だれもが子供のころ経験したような情景だけに、一層親しみを感じることができます。はだしの子供、かすりの着物、ハンカチがわりの手ぬぐい、といった風俗も郷愁を誘います。

開館時間／午前9時～午後6時　休館日／月曜日　新潟市美術館（西大畑町☎223－1622）

ナイスふ～ど新潟'89

きょうが最終日です。

午前9時～午後5時

全国障害者雇用促進大会

9月は障害者雇用促進月間です

日時 9月7日午前10時～午後4時

会場 県民会館大ホール

内容 記念講演（川喜田二郎理学博士）「明治の探検者・河口慧海」、表彰、アトラクション、水島新司さんをキャンペーン隊長とした障害者雇用促進「街頭キャンペーン」など

問い合わせ 新潟公共職業安定所（☎244－0131）へ

下越地区障害者集団選考会

日時 9月14日午後1時半～

会場 ミナミプラザ1階（万代1）

内容 求人者と障害者が一堂に集まり、面接するものです

問い合わせ 新潟公共職業安定所（☎244－0131）へ

BSNテレビ「さわやか新潟」

ウラジオストクから ドゥーロフ市長が来訪

放送日時 きょう9月3日午前8時15分～8時半

電話案内

市役所・教育委員会	228－1000
野球場・テニスコートの申し込み	266－8111
火災の場所を知りたいとき	224－1111
〃	244－1119
市民病院	241－5151
園芸センター	286－1034
東保健所	243－5311
石山地区保健センター	286－4450
鳥屋野地区保健センター	285－2373
北地区保健センター	259－7332
西保健所	266－5171
西地区保健センター	262－3405
坂井輪地区保健センター	260－3255
市医師会休日急患診療センター	231－4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	283－3030
水道局	266－9311